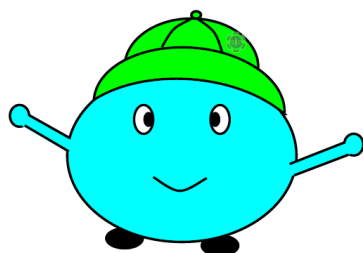




小平市立鈴木小学校

令和4年度

学 校 経 営 方 針



いずみ君



みどりちゃん

小平市立鈴木小学校長 細萱 希彦

1. 教育目標

鈴木小学校では、人権尊重を基盤に、小平市が目指す人間像「自立」「貢献」「共生」を目指します。また、すべての子どもの「生きる力」をはぐくむため、学習の基礎・基本の定着を図り、児童が人と関わり合い、相互に高め合いながら、自律的に成長していく教育を推進します。

鈴木小学校の教育目標

よく考え やさしく 元気な 鈴木の子

《よく考える子》…重点目標

基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、根拠を明確に自分の考えをもち、判断し、行動できる子ども

《やさしい子》

自他の生命を尊重し、自分も友達も大切にできる子ども

《元気な子》

自己有用感を高め、心身ともに健康で粘り強くやり抜く子ども

【小平市教育振興基本計画】

《教育の目標》

- 1 将来の社会を支えるすべての子どもの「生きる力」をはぐくみます
～自立 小平で基礎を培う～
- 2 学校・家庭・地域が互いに育て合い、子どもを支えます
～共生 小平で共に成長する～
- 3 市民が支える新たな生涯学習を実現し、次世代に引き継ぎます
～貢献 市民が小平を育てる～

2. 目指す学校の姿

笑顔あふれる学校 共に成長する学校 郷土を愛する学校

笑顔あふれる学校

児童の感性と発想を大切にして自分や友達のよさを認め合い、全ての人が笑顔になれる学校

共に成長する学校

子どもも大人も共に学び合い、協力し合い、高め合いながら全ての人が共に成長できる学校

郷土を愛する学校

保護者・地域に学校を開き、大人や地域との関わりを通して郷土を深く愛する心を育む学校

3. 学校経営の基本方針（スローガン）

自分で考え 共につくろう 笑顔いっぱい鈴木小

「自分で考え」…自ら主体的に考え、判断したことについて、自分で進める力をつけてほしい

「共につくろう」…様々な人の思いや考えを大切にしながら、みんなでつくる力をつけてほしい

「笑顔いっぱい」…他者への感謝の気持ちをもって、みんなの笑顔をもたらす力をつけてほしい

「よく見て感じる感性」と「児童発案の取組」を大切にしながら、子ども同士、子どもと教職員、教職員同士、学校・保護者・地域など、人との関わり合いを通して相互に高め合い、すべての人が笑顔になれる教育活動を展開していく。

4. 「教育目標」の達成に向けた取組（重点課題と方策）

◇確かな学力の向上

【知識・技能の確実な定着】

●授業改善による主体性の育成

- ・個に応じた基礎基本の習熟
- ・学習ルールによる意欲の向上
- ・鈴木 T、ベーシック T の充実
- ・学年×10 分間の家庭学習の徹底

【主体的・対話的で深い学びの実践】

●自ら考え、学び続ける子の育成

- ・根拠を明確にして考えを伝え合う
- ・「学び方を学ぶ」授業改善
- ・学習環境の整備と言語活動の充実

◇健やかな体の育成

【運動の日常化】

- ・体力向上の意欲を高める授業改善
- ・多様な運動の取組の実践
- ・全校一斉の体力向上の推進
- ・休み時間の活用(児童発案)

【オリ・パラ教育の推進】

- ・自分も相手も大切にする心の育成
- ・障害者理解・豊かな国際感覚の育成、パラ競技の体験

◇豊かな心の育成

【人権教育の推進】

●よく見て感じる感性の醸成

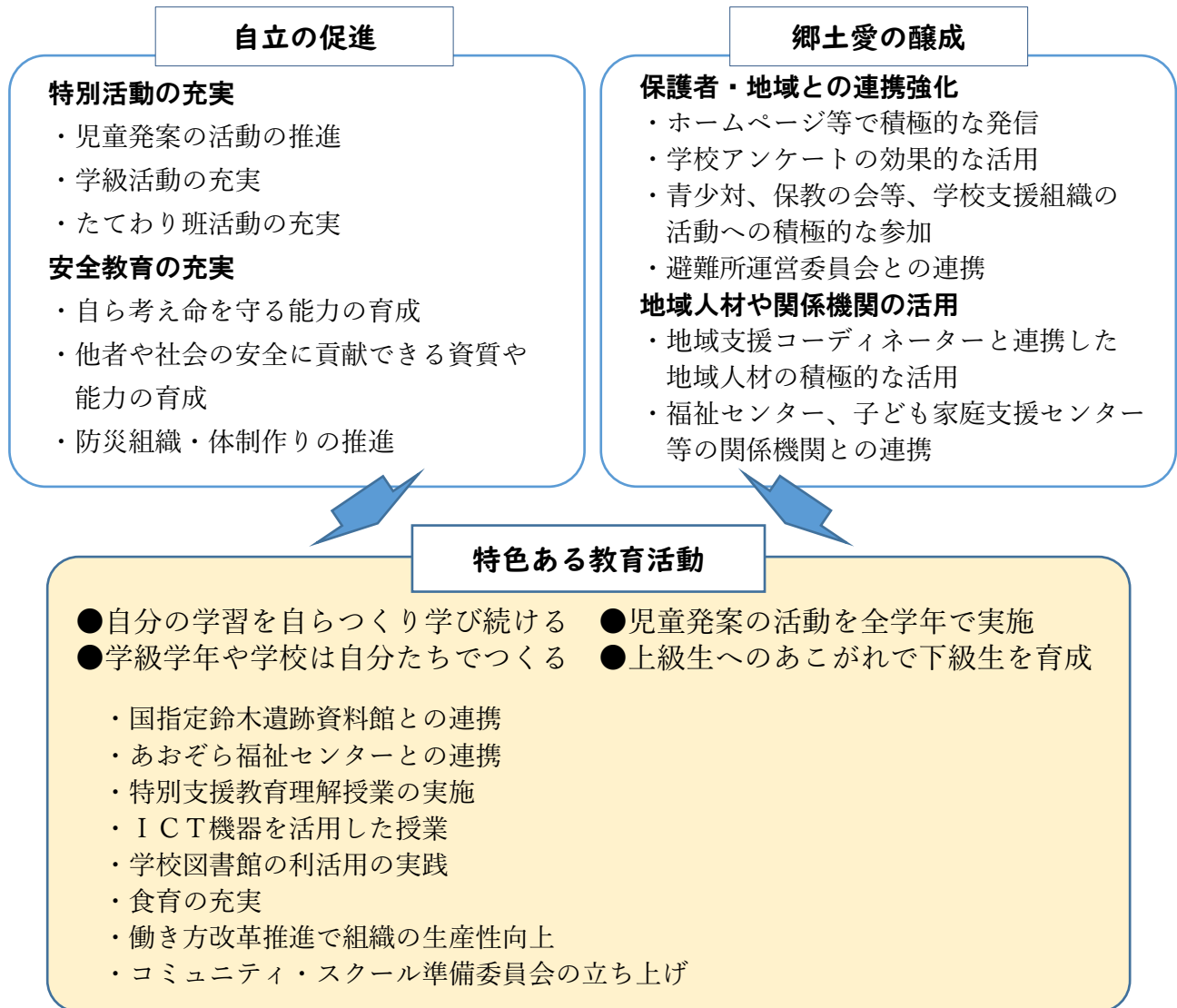
- ・あいさつ（先言後礼）の推進
- ・日常的な人権教育の充実
- ・互いの良さを認め合う活動の充実

【道徳教育の充実】

●課題に気付く感性の醸成

- ・各教科等と関連した授業の実践
- ・年3回いじめに関する授業の実施
- ・認め合い、協力し合う心の醸成

5. 「学校経営の基本方針」の具現化に向けた特色ある取組



6. 教師の資質向上・組織貢献

- ◇組織的な人材育成・・・「校内留学」「相互授業参観」「担任交換授業」「わきあい研修」の充実
- ◇組織的な学校運営・・・主幹教諭、主任教諭による人材育成と確実な引継ぎに資する組織編制
- ◇学校予算の適正な編成と執行・・・全教職員による「意図的・計画的な予算配当計画」「円滑で適切な予算執行」
- ◇校務 PC の活用と校務の効率化・・・「効率的な分掌組織の編成」「個人情報適切な管理」「ペーパーレス」

おわりに

学校教育目標の達成の可否については、年2回の学校評価や学校公開時のアンケート等で広く地域・保護者等に問いながら、随時改善を図る。

学校予算の執行については、本校のこれまでの予算執行状況等を分析し、計画的、効果的な予算の活用を図る。併せて、節約などの努力によって、経費抑制に努める。また、事務主任の自己申告目標達成のため、副校長とともに支援・協働し、円滑な事務運営を図る。